

北秋田地区訪問看護事業所交流会

R6年9月17日(水)、北秋田市訪問看護連絡協議会に出席させていただく形で交流会を開催致しました。

北秋田地区では、市内の訪問看護ステーションの連携を強化し、在宅医療の推進を図ることを目的として、市健康福祉部医療健康課 地域医療対策室が主催する「北秋田市訪問看護連絡協議会」を定期的に開催していました。R6年4月に1事業所が休止となり、現在3事業所で北秋田地区全体をカバーしており、需要に供給が追いついていない現状があるとのこと。

看護師5人で平均1人/月の在宅看取りと、増加している精神科訪問看護に対応している事業所。看多機がない地域で、中重度の利用者を同法人のショートステイで受け入れ、契約してそこにも訪問看護を実施している事業所。人員不足に直面しながら、新規依頼に連携して対応する事で、質の高い看護を提供し続けている事業所。それぞれの事業所が、地域のために尽力している姿がありました。

この現状を知る北秋田市では、**県内で唯一「北秋田市訪問看護体制強化事業費補助金」を交付しています。**市が、訪問看護に勤務する看護師等の処遇改善や人材確保を金銭面でバックアップしてくれるこの先駆的な取り組みは、訪問看護従事者のモチベーションにつながります。全国で最も少子高齢化が進んでいる秋田県の地域医療を守る策として、広がっていただくことを望みます！

